

創造

No.
60



CONTENTS

● エッセイ	2
● 第36回「とやま賞」	3
● 「夢の卵」育成事業	6
● きらめき未来塾	8
● 高等教育振興事業	10
● 令和2年度財団事業概要	11

エッセイ

東京パラリンピック

への想い

アスリートフォレスト

トラッククラブ代表

大森 盛一 氏



自分の競技を引退したのは2000年8月、富山国体の予選であった東京都国体予選会を終えた直後だった。

1996年のアトランタオリンピック以降、競技力が右肩下がりになり、一向に回復する気配もなかったため陸上競技キャリア最後の大会として富山国体をとっていたのだが叶わなかった。

今年2020年、何の因果か引退から20年経った今、日本の東京で開催される東京パラリンピックへの出場が内定した。とはいっても、私自身が内定したのではなく、私がコーチをしている高田千明選手の手、伴走者、コーラーという競技パートナーとして共に競技へ参加することになった。

昨年、ドバイで行われた世界パラ陸上にて女子T11（全盲クラス）走幅跳で4m69を記録し4位入賞を果たし、この世界パラ陸上で4位以上が東京パラリンピック出場権を得るという規定があり参加が内定した。

陸上競技を引退して私は陸上界に残ることを選択しなかった。

アトランタオリンピック以降思ったように走れなくなり、怪我もあり、徐々に走ることが嫌いになっていった。陸上競技自体を見たくないと思うようになっていった。

現役当時は東京に本社のあるスポーツメーカーに所属していたため富山県の選手登録ではなく東京の選手登録で活動していた。そのため2000年の富山国体に出場するためには東京都の国体予選会に出場し選考されることが必要だったが、敗退し、その場で引退を決意した。

その年の12月に所属先を退社し、自分の事を誰も知らない所で暮らしていこう

と思い、就職することになる。現在も陸上競技とは全く関係のない会社で働いているが、ここに落ち着くまでに様々な職を経験し、転職を数社繰り返した。エントナーテインメント業、運送業、生命保険の営業など。現在の会社は自動化装置の設計製作会社の営業、やはり陸上とは何の関係もない。

陸上競技に何の未練もなかったのかと問われれば、そうじゃなかったのかもしれない。

陸上を離れてから8年ほど経った頃、とある陸上クラブからコーチの誘いがあった。その頃には陸上競技をテレビでみたりするようになっていた。やめた直後は一切の陸上の情報は遮断していたから少しは打ち解けていたのかもしれない。誘われたクラブのコーチを迷いはしたものの受けることになるが、その後1年半ほどして自分自身の陸上競技への思いが強くなり、自分の主催する陸上クラブを立ち上げることになる。

高田が加入してきたのは立ち上げから1年半ほど経ってからだった。

北京、ロンドンとパラリンピックを落選した。

それまで高田のコーチとして関わってきた。パラ陸上であったが、ロンドン後からはコーチだけでなく、100mの伴走者、そして新しく始める事になる走幅跳

のコーラーとして競技に近いところで関わることになった。その矢先、東京オリンピック・パラリンピックが開催決定となり、なにか因縁めいたものを感じてしまった。

東京に出てきて30年になる。

志貴野中学校から伏木高校を卒業して日本大学へ進学、富山で過ごした時間より東京で過ごした時間のほうが遥かに長くなってしまった。

しかし、私の心の中には常に富山が存在していて、唯一、陸上競技でやり残したことがあるとするなら富山国体に出場できなかった、富山国体を引退の場にならなかったということだった。

場所は東京だが、同じ日本。富山のお世話になったすべての関係各位への感謝をこめて、東京パラリンピックの舞台で高田と共に走る姿をみていただきたい。

プロフィール

大森 盛一（おおもり しかかず）

アスリートフォレスト トトラッククラブ代表

高岡市出身 県立伏木高校卒業

1992 バルセロナオリンピック陸上競技代表

1996 アトランタオリンピック陸上競技代表

2016 リオデジャネイロパラリンピック競技

パートナー

2020 東京パラリンピック競技パートナーとして出場予定

第36回

令和元年5月29日(水)

「とやま賞」贈呈式

贈呈式・受賞者スピーチ

「とやま賞」とは…

富山県の置県百年を記念し、富山県の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設されました。

受賞対象者は、富山県出身者または県内在住者で、学術研究、科学技術、文化、芸術及びスポーツの分野において顕著な業績をあげ、かつ将来の活躍が期待される個人または団体の活動を奨励するものです。



中島選考委員長による講評



石井理事長より賞状・目録贈呈



第36回「とやま賞」贈呈式は、去る5月29日に、富山国際会議場メインホールにて執り行われました。贈呈式では、受賞者5名に石井理事長から賞状及び奨励金目録が手渡されました。また、各受賞者に、受賞の喜びやこれまでの経緯についてスピーチしていただきました。

今回の受賞者

受賞者によるスピーチ

私の研究対象は、ウイルスに感染した細胞やがん細胞を殺すことができる、免疫細胞の一つであるキラーT細胞です。キラーT細胞は表面にあるセンサーを使って、健康な細胞とがん細胞を区別して、がん細胞だけを攻撃することができます。しかし、これまではキラーT細胞のセンサーを解析するためには数ヶ月以上が必要なうえ、うまくいかない場合も多くあり、解析が進んでいませんでした。なぜなら、キラーT細胞は0.01ミリメートルととても小さく、1個1個のキラーT細胞からセンサーを解析することが不可能だったからです。そこで、我々はわずか10日間で1個1個のキラーT細胞のセンサーを効率よく解析できる方法の開発に取り組みました。当初、我々の

学術研究部門 医薬分野「免疫学」

富山大学大学院医学薬学研究所(医学) 助教



小林 栄治 氏

がん免疫療法を目指した抗原特異的T細胞受容体遺伝子の網羅的取得法の開発

この度は名誉ある「とやま賞」を賜り、富山県ひとづくり財団ならびに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、今回の受賞に際し、これまでご指導いただいた村口先生・岸先生をはじめとする富山大学免疫学講座の皆様がこの場を借りてお礼申し上げます。

計画に「不可能」など批判的な意見もありましたが、諦めずに皆で協力して取り組み、ようやく完成させることができました。現在は新たながん治療法の開発を目指し、この方法を使って、がんに反応するキラーT細胞の解析に取り組んでいます。

私が縁あって、富山に赴任してちょうど10年になります。富山に赴任してから特に人に恵まれたと感じています。前述の解析システムの開発は本当に困難の連続でした。何も結果が出ない日々があまりにも続くと、やはり「不可能」かもしれないと悩んだ日々もありました。これがもし一人で取り組んでいたのなら、きつと諦めていたに違いありません。しかし、共に協力する仲間がいたからこそ、「不可能」を乗り越えることができました。また、今回の「とやま賞」の受賞がきっかけで、多くの方に我々の研究内容を知っていただき、興味を持っていただけたことが、大きな励みにもなっています。これまで受けたご恩を少しでも返せるように、これからも研究・教育に尽力していく所存です。まだまだ未熟者ですが、今後ともご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



石山 達也 氏

富山大学大学院理工学研究部（工学）准教授

学術研究部門 理工分野「物理化学」

新材料の開発を目指した高分子界面の分子構造研究

この度は、このような名誉ある賞を頂戴して誠にありがとうございます。私が富山大学に赴任したのは2014年のことでしたが、そこから5年という月日があっという間に経ちました。その間に、富山の自然にたくさん触れることができ、娘も富山でのびのびと育ち、私の研究も富山大学で順調に発展させてこられたのではないかと思っています。このような思い入れのある富山の地において、今回「とやま賞」を頂けたことは、私にとって格別の喜びであると同時に、大変身の引き締まる思いです。今回の受賞は一人の力によるものではなく、多くの方々に支えて頂いた結果であると思っております。これまでお世話になった方々には、この場をお借りして深く感謝申し上げます。と思います。

私の研究の特徴のひとつは、分子を扱う研究でありながら、実験を一切行わない手法を用いることです。その手法は、「コンピュータシミュレーション」あるいは「分子シミュレーション」と呼ばれています。私がこの手法に初めて出会ったのは、大学時代、学部学生の時に聴いたある先生の講演がきっかけでした。研究とは実験が全てだと思っていた自分にとっては大変インパクトのある話で、しかも普段私たちが決して直接見ることのできない分子運動の詳細を、物理・化学の法則を駆使して鮮やかにみせてくれるこの手法に、大変興味を感じた

ことは今でも覚えております。それ以降、分子シミュレーション手法の詳細を学び、新しいシミュレーション手法を自分の手で開発してきました。私の今回の受賞対象となった研究業績は、この分子シミュレーション手法を、高分子といった複雑界面の分子構造の解明に適用し、新しい材料開発への指針を与える手法として発展させた点にあると思っています。今後は、他の解析方法では解決できないような多くの科学・工学の諸問題に、本シミュレーション手法を適用していきたいと考えています。

学術研究部門 理工分野「ミカルバイオロジー」

名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所 特任准教授



多喜 正泰 氏

細胞機能の精密イメージングを実現する革新的蛍光色素の創出

この度は生まれ故郷富山の冠がついた名誉ある「とやま賞」を賜り、誠にありがとうございます。大学進学を機に富山を離れ、国内外の様々な地で生活していましたが、とやま賞の受賞は身に余る光栄であり、財団関係者の方々から心より感謝申し上げます。

私の専門はケミカルバイオロジーという新しい学問分野で、化学的な手法で生命科学研究にアプローチし、複雑な生命現象を理解しようとするものです。その

中でも、私の研究対象は蛍光イメージングを利用した細胞機能の解明です。蛍光イメージングとは、暗闇でターゲットの細胞やタンパク質を光らせ、その構造や動きを「光の情報」として検出する手法のことで、近年の生命科学研究において欠かせない技術となっています。特に、2014年のノーベル化学賞の受賞対象にもなった「超解像顕微鏡の開発」によって、細胞内の超微細構造が鮮明に観察できるようになりました。しかし、細胞機能を解明するためには、顕微鏡技術に加えてターゲットを光らせるための道具（ツール）が必要です。

今回の受賞の対象となったのは、細胞機能の精密イメージングを実現するための分子ツールの開発に関する研究です。ここで分子ツールとは、光る分子（蛍光色素）のことを指し、ターゲットの特徴に応じて分子の設計図を描きます。実際に合成した蛍光色素を用いて、これまで誰も目にしたことがない細胞の構造や機能が見えたときに最高に嬉しい瞬間です。

蛍光イメージングは、薬の開発においても非常に有用な技術です。これまであまり意識してきませんでしたが、このような研究に巡り会えたのは「薬都とやま」で育った環境が大きく影響しているのでしょう。この受賞を糧に、より一層研究に邁進していきたいと思っております。最後になりますが、本研究の遂行でお世話になりました共同研究者の皆様、ならびにいつも支えてくれる家族にこの場を借りて感謝申し上げます。

科学技術部門

放射線診断学、呼吸器

金沢大学医薬保健研究域保健学系 准教授



田中 利恵 氏

低線量X線動画イメージングによる
新しい肺機能診断技術の創出

この度は第36回とやま賞を賜り、誠にありがとうございます。ライフワークとして取り組んできた研究に対し、故郷の富山県から名誉ある賞をいただけたことを大変光栄に思います。

私は富山県婦中町に生まれ、鶴坂小学校、速星中学校、富山高校を経て、金沢大学に入学しました。大学時代に所属した研究室で、誰もやっていないことに挑戦し、アイデアを形にする楽しさを知り、研究者の道を選びました。そして、その頃からずっと継続して取り組んできたのが、今回受賞対象となった技術の開発です。これは、呼吸過程を10秒間撮影したX線動画像を対象に、肺の白黒濃淡変化や横隔膜や心臓の動きを解析し、解析結果にもとづき肺機能を診断する技術です。これまでの研究で、胸部単純X線撮影の基準線量の2倍程度の被ばく線量で実施可能だという安全性の確認と、動画解析技術の開発を行い、動物実験・初期臨床評価にてその有用性を証明しました。今後は、開発した技術の保険収載を目標に、適用範囲や診断能の解明に取り組んでい

く予定です。

医療機器開発は一般的に約10年の時間を要すると言われていきます。本研究も2001年に開始してから、実用化まで18年かかりました。何をやってても上手くいかず、研究を中断した時期もありましたが、それでも実用化に至ったのは、とにかくやめなかつたからだと思っと思っています。この経験にもとづく私のモットーは「If you can dream it, you can do it」(夢を描くことができれば、それは実現できる)です。夢が明確になれば、実現するために必要なことも見えてきますし、努力もし続けられます。富山県の将来を担う学生さんには、若いうちにできるだけ大きな夢を持っていただきたいと思っています。

最後になりますが、財団関係者ならびにこれまでご指導・ご支援いただいた方々に深く感謝申し上げます。これを励みに今後も研究活動に精進していきたいと思っと思っています。

文化・芸術部門

演 劇

庭劇団ベニノ 劇作家・演出家



タニノクロウ 氏

演劇の新しい地平を拓き、舞台芸術
の新たな可能性の扉をも開く

庭劇団ベニノ代表、劇作家・演出家のタニノクロウです。このような素晴らしい

い賞を頂くに値する成果を持つているか分からず、恐縮するばかりです。記念講演では受賞者の方々の様々なジャンルでの成果を拝聴し、とても多くの刺激を受けたとともに、あらためて私の活動を振り返る時間になりました。そして「何故私は現代演劇を作っているのか」ということについて話しました。考えるまま、思いつくままに話したので、言いたいことが伝わったか不安でしたが、講演後一人の高校生からお褒めの言葉を頂きましたので良しとしましょう。演劇に限らず、表現の世界は自由なものです。それは誰かに制限されるものではありません。たとえ危険なもの、人を傷付けてしまう可能性のあるものであつたとしてもです。作り手に必要なのはそこに喜びを感じるかどうかだけです。

先日オーバードホールで第二弾となる作品を発表することが決まりました。富山の漁港町を舞台にした作品「笑顔の碧、富山」です。富山の俳優、富山のスタッフとともに二ヶ月間の滞在製作に臨みます。先日台本の初稿を終えました。私がか

の数年富山と東京を行き来する中で感じた思いを存分に作品に込めたいと思っます。そしてその創作を通して演劇を作る喜びをたくさんの方たちと共有したいと思っっています。

人口減少時代が到来し地方創生が重要視されています。富山には多くのクリエイティブイニシアチブに満ちた人たちがいることを知っています。それを受け止める方たちがいることを知っています。だからきつと中央とは別の、独自の発展があるのだろうと思います。私にその過程を共有できるのなら、その為になることができることあるのならこんな幸せなことはありません。

おしらせ

第38回「とやま賞」の候補者推薦募集について

募集について、以下のように行う予定です(令和2年3月時点)。

賞を贈呈する部門・分野

学術研究部門(医薬・理工・人文社会の3分野)、科学技術部門、文化・芸術部門、スポーツ部門の4部門3分野

候補者の条件

- (1) 富山県出身または富山県内在住の者
- (2) 各部門・分野ですぐれた業績を挙げ、活躍が期待される45歳までの個人または団体

※その他の条件については、当財団HP(下記URL)。
<http://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/data/boshu.html>

推薦募集期間

令和2年10月初旬～令和2年11月中旬

夢の卵★ 育成事業

この事業は、ノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊さんの「子どもたちには『夢の卵』を持ち続けてほしい」とのメッセージにちなんで企画されました。子どもたちに「いくつもの『夢の卵』をもってもらおうこと」、「『夢の卵』を温めてもらうこと」、そして「『夢の卵』を孵すこと」を支援し、自分の将来を考えてもらうきっかけづくりをねらいとして、平成16年度から実施しており、今年で16回目となりました。

4月中旬から5月にかけて、県内の小学校5、6年生と中学校1、2年生を対象に、「将来の夢（＝夢の卵）」を書いた作文を募集し、その中から選ばれた4名の児童生徒が、各分野の第一人者に短期入門をしました。また、より多くの子どもたちの夢を応援するため、次点となった作品を佳作として表彰しています。

小学生の部（応募数1,214作品）

富山の自然を活かせる建築家になりたい

上市町立宮川小学校6年 河原 詩緒里 さん

建築や公園、美術館でふるさと富山に対する「好き」という思いを表現し伝えていきたいという強い意欲を持って、富山大学芸術文化学部に入門しました。



建築デザインについて教わりました。



体験記
より

今回建築を学んで、知らないことをたくさん知れました。今までよりもっと建築の勉強をしたいと思いました。また、このような機会を与えてもらったおかげで、建築がとっても好きになりました。



木津の庄コミュニティセンターを見学しました。



天体望遠鏡の使い方や特性を教わりました。

宇宙のあらゆる謎を解き明かす研究者になりたい

富山市立大久保小学校5年 田村 大輝 さん

星空観察や重力波観測装置KAGRAの見学など多くの経験を通し、宇宙の研究者になりたいという強い向学心と探究心をもって、富山市科学博物館に入門しました。



体験記
より

ダークエネルギー、ダークマターのことや分光器がどれだけすごいかなど、自分が今まで知らなかったことをたくさん教えていただきました。僕は本当に良い経験をさせていただきました。



プラネタリウムの操作を体験しました。



令和元年度 夢の卵表彰式



- 多かった夢
ベスト
5
- ① 医師
 - ② 野球選手
 - ③ 看護師
 - ④ サッカー選手
 - ⑤ 保育士



<今年度の短期入門者数と応募数>

応募数	小学生の部	1,214作品	中学生の部	1,020作品
表彰	小学生の部	優秀賞（短期入門）2名	佳作	16名
	中学生の部	優秀賞（短期入門）2名	佳作	16名

中学生の部（応募数1,020作品）

大相撲の立行司になりたい

射水市立射北中学校2年 村田 宏樹 さん

憧れを出発点に、行司が好きであり、なりたいという強い気持ちを持って、立行司第41代式守伊之助および高砂部屋に入門しました。



立行司第41代式守伊之助と。



全体を通し、集団行動の難しさや今の自分に足りないことも知ることが出来ました。また、力士の方が仲良くしてくださったりして、とても楽しく過ごすことが出来ました。

この経験をこれからの生活につなげて、夢に向かって諦めずがんばりたいです。



高砂部屋で相撲字を練習しました。



アリーナ建設現場を見学しました。



中央管理室でモニターチェックを行いました。

安全に環境を再構成できる解体業者
になりたい

南砺市立井口中学校2年 今井 英介 さん

解体に興味を持ち、その環境影響や生じる廃材の再利用を学びたいという気持ちを持って、佐藤工業株式会社と高俊興業株式会社に入門しました。



建築途中に出た産業廃棄物の分別、建築の方法、建築・解体時に使われる道具や乗り物の使い方、解体のやり方を教えていただきました。また、安全設備についてもお聞きしました。

難しい仕事ですが、私たちが生きていく上で必要不可欠だと実感し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

☆きらめき未来塾☆

子どもたちの発想力や創造力、ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出す目的で、各分野で活躍されている方を講師にお招きし、夏休み期間中に3つの道場を開催しました。

☆右脳活用道場

直観的なイメージ、柔軟な発想力、創造力を形にする表現力を育てる

講師：森 みちこ 先生（漫画家）

森みちこ先生（漫画家）を講師に迎え、漫画作りを通して、自分のアイデアを絵と言葉で表現する手法を学びました。

みんなに読んでもらう作品として仕上げることを体験することで、自分のイメージや思いを伝える絵や言葉の展開、表現方法の難しさ、1つの作品が出来たときの達成感を味わいました。

※みんなが描いた漫画は、1冊の漫画本としてまとめました。

.....
【7/26】オリジナルキャラクターを描く

【8/ 1】ネームを描く

【8/ 8】漫画原稿制作へ

【8/22】漫画原稿の仕上げ
.....



漫画の描き方について学ぶ



オリジナルキャラクターを考える

参加者の感想

- 自分のマンガがオリジナルで描けたし、しかもそれがマンガ本になったことが嬉しかった。
- 「スクリーントーンの貼り方や削り方」「マンガのコマの割り方」がよく分かった。

☆思考道場

ゲーム感覚で数学的な考え方を磨き、柔らかい思考力・発想力を育てる

秋山仁先生「スペシャル公開授業」



講師：秋山 仁 先生（数学者）※スペシャル公開授業
川口先生、島先生、杉田先生、戸谷先生、前田先生
（県内小学校教員5名）

多くの応募者の中から選ばれた32名の入門者は、さまざまな体験的な活動、ゲームを取り入れた思考活動、実際につくる操作活動などを通して“算数の楽しさ”を体感しました。



d2ますの不思議

.....
【7/30】秋山仁先生「スペシャル公開授業」

【8/ 6】「折って切って開くと…」

「閉じ込めちゃうぞ ハノイの塔」

【8/20】「タングラム」「数理ゲーム」

【8/26】「クルリンパ」「d2ますの不思議」
.....



折って切って開くと…

参加者の感想

- 秋山仁先生が教えてくれた、相手の選んだ数字を当てるゲームが面白かった。
- 学校で学ぶ内容ではなく、応用問題がたくさん出題され、ゲーム感覚で考えることができた。

☆お笑い道場

落語を学び、ユーモアセンスと表現力を育てる

講師：安野家 仁楽斎 氏（社会人落語家、フリーアナウンサー）

本物の落語を味わい、扇子の使い方や落語を話すときの視線の配り方、しぐさ等を学び、また、実際に高座に上がって自己紹介したり落語のオチを練習したりしました。

お笑い大会では会場に集まった家族の皆さんに、小咄や謎かけを披露しました。

お笑い大会 小咄披露



-
- 【8/2】落語を勉強しよう
- 【8/9】自分を表現しよう
- 【8/17】大きな声で会話しよう
- 【8/25】お笑い大会（発表会）
-



先生から所作指導



お笑い大会 大喜利紅白戦

参加者の感想

- みんなの前で発表するときはどうしたら面白いのか、どうしたら上手く表現できるか、考えてするところに興味を持った。
- いろいろな落語を知ることができて面白かった。

ひとつづくり財団からのお知らせ

富山県教育記念館の会議室ご利用案内



富山県教育記念館では大会議室1（60名～80名程度）、会議室3（各20名程度）の計4室を貸し出ししています。会議や講演会等でのご利用をお待ちしています。

ご利用のお問合せ・お申し込みは、

当館1階受付 **TEL：076-433-2770** まで

※受付時間 祝日を除く8時30分から17時まで

ご利用料金、空き状況などは、下記URLから確認できます。

<http://www.t-hito.or.jp/reserve/>

賛助会員の募集

富山県ひとつづくり財団では、広く財団の目的に賛同される個人、法人の方々に賛助会員としてご協力いただきたいと考えております。多くの皆様のご賛同をお願いいたします。

- 年会費：法人会員 年一口 30,000円
個人会員 年一口 3,000円
- 特典：機関紙の定期配布（年1回）、イベント等の開催案内、各種報告書等配布、県の情報誌、冊子等の配布
- 申込方法：入会ご希望の方は、財団へご連絡ください。



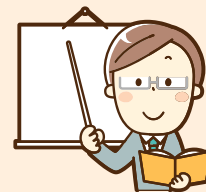
高等教育振興事業

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対する支援(助成金の交付)を通じて、本県の学術、文化及び産業の発展を図りました。

助成内容と助成先(令和元年度の助成見込み:38件 12,006千円)

●学会等の開催に対する助成事業 9件580千円(助成率1/3 上限100千円)

- ・北陸産科婦人科学会(富山大学)
- ・中部日本小児科学会(富山大学)
- ・分析化学中部夏期セミナー(富山高等専門学校) など



●公開講座、シンポジウム等の開催に対する助成事業 13件2,977千円(助成率10/10 上限300千円)

- ・環境講演会(富山県立大学)
- ・公開講座(富山短期大学)
- ・地域いきいき・臨床美術セミナー(富山福祉短期大学) など

●研究助成事業

【若手研究者育成枠】3件1,050千円(助成率 定額 上限350千円)

- ・富山県酒造業の存立構造と生産・販売振興に関する実証研究 ～呉西地区を中心にして～(高岡法科大学)
- ・急性期病院で働く医療ソーシャルワーカーが抱える業務上の課題に関する研究
～中堅期の医療ソーシャルワーカーからの視点～(富山福祉短期大学) など

【地域課題解決枠】4件1,930千円(助成率10/10 上限500千円)

- ・富山県内の稲作農業の発展に寄与するための有機合成化学 ～カメムシ忌避物質の探索研究～(富山大学)
- ・介護人材不足を補う介護外国人技能実習生のキャリア志向の把握と安定したモチベーション形成へのアプローチ
～富山県における介護外国人実習生の受入れに向けて～(富山短期大学) など

●大学連携支援事業(大学コンソーシアム富山への支援)3件469千円(助成率1/2)

- ・FD&SD研修会
- ・大学等リーダー研修会 など

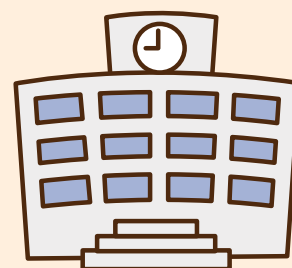
●私立大学振興事業

【学生確保推進支援事業】4件4,000千円(助成率1/2 上限1,000千円)

- ・オープンキャンパス
- ・就職・キャリア支援事業

【大学活性化支援事業】2件1,000千円(助成率 定額 上限500千円)

- ・イブニングセミナー
- ・エクステンション・カレッジ特別講演会



令和2年度 富山県ひとづくり財団 事業概要

1 人づくりに関する調査研究及び普及活動

① とやまファン倶楽部事業

富山県をこよなく愛し、全国から富山県を応援する方々のヒューマンネットワークづくりを推進します。

② 退職教員等活用推進事業

退職教員や民間企業の人材を登録し、学校現場へ紹介することにより、学校における人材確保と優れた指導実践の継承を図ります。



2 元気で創造性豊かな子どもの育成事業

① 「夢の卵」 育成事業

② 「きらめき未来塾」 事業

右脳活用道場（漫画）、思考道場（算数）、お笑い道場（落語）

③ 「高校生とことん科学セミナー」 開催事業

数理科学の分野で世界的に活躍する人材を育成するため、各専門分野の第一線で活躍されている科学者・数学者を招いて、高校生を対象に最先端の研究に関する講義と、ひざを交えた交流会を行います。

3 元気な地域づくり事業

「学ぼう！ふるさと未来」 支援事業

ふるさとに学び、ふるさととともに生きる地域活動を実践している小学校を支援します。

4 優れた人材育成支援事業

「とやま賞」 贈呈事業

5 教育の歴史文化に関する文献の収集・保管・展示

① 企画展及び恒例展の開催

富山県教育記念館1階展示スケジュール

- 【企画展】 4 / 8 ~ 5 / 24 「肖像画で見る郷土の先賢」
- 【恒例展】 6 / 3 ~ 7 / 5 「児童・生徒によるものづくり展」
- 7 / 15 ~ 8 / 27 「さんすうワールド展」
- 9 / 2 ~ 10 / 4 「子どもの目、自然不思議発見写真展」
- 10 / 9 ~ 10 / 18 「富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」
- 11 / 14 ~ 11 / 29 「富山県造形教育作品展」
- 12 / 5 ~ 1 / 10 「アイデアロボット展」
- 1 / 22 ~ 2 / 7 「富山県中学校美術展」
- 2 / 17 ~ 3 / 21 「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」



② 教育資料収集

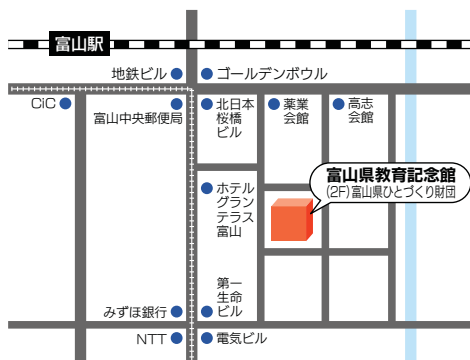
富山県の教育の歴史や文化に関する文献や資料の収集及び整理を行い、各種教育展示等で利用します。

6 高等教育振興事業

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対して支援します。

7 教育記念館管理運営事業

学校教育関係団体が集う富山県教育記念館の管理運営を行います。



公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階
TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001
e-mail:toyama@t-hito.or.jp <http://www.t-hito.or.jp>

令和2年3月発行